

地域再生計画

1. 地域再生計画の名称

安全で活力あるみなとづくり計画

2. 地域再生計画の作成主体の名称

香川県

小豆郡土庄町

3. 地域再生計画の区域

香川県小豆郡土庄町の区域の一部（土庄港、馬越港、田井漁港、唐櫃漁港）

4. 地域再生計画の目標

土庄町は、瀬戸内海国立公園の東部にうかぶ小豆島の西北部に位置し、町域は、東西26.9km、南北11.5km、面積74.38km²で、香川県に属している。地勢は、主として小豆島を東西に走る脊梁山地の北部およびこれが西に続く200m級から300m級の山をいただく島嶼部からなり、約90kmにおよぶ長大な海岸線および付属島嶼とあいまって、天然の良港を数多く形成するとともに、国立公園と呼ぶにふさわしい内海美を誇っている。

土庄港は、土庄町の中央部に位置し、瀬戸内海第2の島である小豆島の表玄関であり、観光バスターミナル、観光ショッピングセンター、ホテル等が整備され、小豆島最大の観光拠点として、また、小豆島と他地域を結ぶ海陸交通の結節拠点として重要な役割を果たしている。

馬越港は、土庄町の北部に位置し、背後地域で営まれる工業原料及び農作物の積み出し港として栄え、現在では、海苔養殖が盛んに営まれており、水産業が基幹産業となっている。

田井漁港は、土庄町の北東部に位置し、港内に良好な砂浜を有する海岸があり、夏季には海水浴やキャンプで賑わいがあり、古くから小型底引き網、刺し網及び定置網が盛んに営まれており、馬越港と同様に、水産業が基幹産業となっている。

唐櫃漁港は、小豆島の西方3.7kmの海上にある豊島の北東部に位置する町内でも有数の漁港である。現在、海苔の養殖が盛んに営まれている。また、同漁港内には、土庄～宇野間を結ぶ定期航路が6便/日就航しており、島民にとって重要な交通手段となっている。

しかしながら、土庄港では、平成元年に約216万人の船舶乗降客数を数えていたが、平成21年の船舶乗降客数は約160万人まで減少しており、観光業、運送業を始め、さまざまな地場産業に与える影響は深刻な状況にある。

また、馬越港と田井漁港の現在の漁業活動の中心である小型船のための施設は老朽化が著しく、また近年の漁船の大型化に伴い既設物揚場は、泊地の水深不足と狭

小が生じて、一部の漁船しか係留できず操業が終わると近隣の港に係留してから、車で帰路についている。そのため野積場が、皆無なことと合わせて漁業活動にも支障をきたしている。さらに、台風などの異常気象時においては、防波堤の天端高が不足していることから、漁船の安全も確保できない状態であり、係留している漁船などは、クレーンなどで吊り上げて陸上部に移設したり、他港に避難している状況である。

これらのことは、漁業従事者の大きな負担となっており、水産業の振興が図れず、各港を取り巻く地域の大きな課題となっている。

また、唐櫃漁港においては、離島生活航路として、現在2隻の定期船が就航しているが、人口の減少、少子高齢化等により輸送人員、車両が減少し欠損額が増大している。このため、航路改善協議会を設置し、将来の欠損拡大・経営破綻を回避するため、協議検討を行った結果、人件費・運航経費等を抑制し経営改善化するため、フェリー1隻を小型化する計画であるが、現在の係留施設では就航できない。一方、当漁港を利用する漁業者も年々高齢化しており、その作業の負担軽減及び安定化が望まれるところである。

このため、本計画では、土庄港で小豆島の表玄関にふさわしい魅力的な港湾空間を創出し、馬越港と田井漁港では、港内の安全性の向上と、小型船の係留施設不足等を解消する。唐櫃漁港では、定期航路を利用する住民の利便の確保のため、小型定期船が就航でき、また、漁業者の作業の負担も軽減され、安定して利用できるようにする。また、これらの事業に加えて、戦略的な観光セールス、水産資源の安定供給、周辺市町と連携した定住自立圏づくりを推進する。

このような取組によって、住民の利便向上はもとより、観光と豊かな水産資源をより強固に結びつけ、観光業と水産業の相互の振興を図ることにより、地場産業全体の振興に繋げることができ、あわせて快適で安心して暮らせる町づくりに努め、更なる地域全体の活性化を目指す。

(目標1) 来島者の増加

- ・ 船舶乗降客数の増加〔土庄港〕

1,606,407人 (H21) → 1,680,000人 (H27)

(目標2) 安全で効率的に利用できる施設の確保

- ・ 安全に係留できる隻数の増加

	0隻 → 48隻
馬越港	0隻 → 36隻
田井漁港	0隻 → 12隻

(目標3) 小型定期船が係留できる施設の確保

- ・ 小型定期船が係留できる隻数の増加

唐櫃漁港 0隻→ 1隻

(目標4) 漁業者の作業の負担が軽減され、安定して利用できる施設の確保

- ・ 荷揚作業の負担が軽減され、安定して利用できる隻数の増加

唐櫃漁港 0隻→ 5隻

5. 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

土庄港では、来島者の増加を図るため、観光プロモーション・新たな観光プランの企画、島内での滞在の促進、販売及び国内外の観光客向け情報発信に加え、緑地の整備を行い、来島者へ歓迎の意をこめた魅力的な港湾空間の提供を行う。

馬越港では、小型船の係留施設が不足していることから、小型船だまりを整備する。

田井漁港については、安全な係留を確保するための整備を行う。

唐櫃漁港については、離島生活航路の維持確保のため、及び漁業者の作業の効率化を図るため浮棧橋の整備を行う。

加えて、構想に基づく定住自立圏の確立に向けた各種取組や地域に展開する芸術文化資源の連携推進、映像による地域情報の発信、水産資源の種苗放流と成育環境の整備を行う。

5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

港整備交付金を活用する事業

[施設の種類と事業主体]

- ・ 港湾施設（土庄港、馬越港） 土庄町
- ・ 漁港施設（田井漁港・唐櫃漁港：第一種漁港） 土庄町

[整備量]

- ・ 港湾施設・・・港湾環境整備施設、水域施設、外郭施設、係留施設、臨港交通施設
- ・ 漁港施設・・・水域施設、外郭施設、係留施設

[事業期間]

- ・ 港湾施設 平成23年度～平成26年度
- ・ 漁港施設 平成24年度～平成26年度

[港整備交付金の総事業費]

総事業費	745,000 千円	(うち交付金	327,333 千円)
(内訳)・港湾施設	500,000 千円	(うち交付金	195,333 千円)
・漁港施設	245,000 千円	(うち交付金	132,000 千円)

5-3 その他の事業

(1) 瀬戸・高松広域定住自立圏共生ビジョン

【高松市、土庄町、小豆島町、三木町、直島町、綾川町】

圏域内で定住できる環境づくり、創造性豊かな海園・田園・人間都市づくり、安全で安心して健やかに暮らし続けられる地域づくりの3点を基本施策とし、島、街、里が織りなす重層的なネットワークに支えられた創造性豊かな中核・生活交流圏域を目指す。

(2) 香川せとうちアート観光圏【香川県】

海、都市、里に展開する芸術点文化資源を連携・融合させ、その相乗効果を引出し、世界に誇れる「せとうちアート」の創造に結びつける。

(3) 見れば見るほど映像・誰もがアート驚く情報発信事業【香川県】

観光地や県産品等の付加価値や競争力を高め、市場から選ばれる地域を確立するため、最先端の映像技術を活用した戦略的情報発信を展開する。

(4) 種苗放流事業【漁業協同組合】

タコ、キジハタ、ヒラメ、クルマエビ、オコゼ等の稚魚を放流し、水産資源の安定供給に努める。

(5) 小豆地区増殖場造成事業【香川県】

漁礁や投石礁などの設置し、ガラモ場造成や幼稚魚の育成場・産卵場造成などを行い、水産資源の育成に努める。

(6) 播磨灘地区水産環境整備マスタープラン【香川県、岡山県、兵庫県】

マコガレイ等の生活史に対応した良好な漁場の整備を実施し、播磨灘全体の資源量の増加に努める。

6. 計画期間

平成23年度～平成26年度（4ヶ年）

7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、4に示す数値目標に照らし状況を調査、評価する。また、必要に応じて事業の内容の見直しを図り、施設の整備状況等について評価・検討を行う。

8. その他地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当無し